

上三川小学校「創立150周年」

5月1日・2日、上三川小学校で「創立150周年を祝う会」が行われました。

1日目の記念式典では、佐藤秀彦校長の式辞が述べられ、児童代表挨拶では、6年生の鈴木凜さんが登壇し「先輩方が築き上げた歴史と伝統を一人ひとりが受け継ぎ、新たに歴史をつくっていきます。」と力強く誓いました。

式典後の講演会では、やり投げ選手として2度オリンピック（2012ロンドンオリンピック・2016リオデジャネイロオリンピック）に出場された、上三川町名誉町民の海老原有希さんが「夢をあきらめない」をテーマに講演されました。海老原さんは、オリンピックの経験を踏まえ「夢・目標は変化するもの。人との出会いを大切にすること。何事もまずは経験すること。」などと、児童に伝えていました。

2日目は、東京2020パラリンピックで国歌を独唱された、シンガーソングライターの佐藤ひらりさんによる演奏会が行われました。

佐藤さんはピアノを弾きながら「パプリカ」や「ジュピター」、自作曲「みらい」などを歌い、児童たちは曲にあわせて手拍子をするなど、演奏会を楽しんでいました。



本郷北小学校「折り紙で共和小学校の児童と交流」

5月22日、本郷北小学校に神奈川県相模原市立共和小学校の児童124名が訪れ、本郷北小6年生との交流会が行われました。この取り組みは、修学旅行にあわせ県内の小学校を訪問したいとの共和小からの要望を受け、両校長の共通の知人を通して実現されました。

交流会では、歓迎セレモニー及び自己紹介が行われたあと、各校の取り組みについて紹介されました。

共和小からは、昨年度「総合的な学習の時間」で行われた、相模原市のシビックプライド（※）を高めることを目的とした「シビックプライド祭り」の取り組みや成果などが発表され、本郷北小からは、町出身で創作折り紙作家の吉澤章氏についてや、町が「ORIGAMIのまちづくり」を進めていること、授業で折り紙を学んでいることなどを発表したあと、児童が講師になりペンギンや犬の折り紙を空中折り紙で制作しました。制作した児童からは「難しいと思ったけど簡単にできた。」「みんなと一緒に折れて楽しかった。」との声もあり、短い時間でしたが、相互のよさが生かされた楽しい交流会となりました。

※シビックプライド・・・郷土愛／市民性など



かみたんメールの登録は下記アドレスに空メールを送信してください
t-kamitan-mail@sg-p.jp

人口と世帯【令和5年6月1日現在】（対前月比）
人口：30,859人（-20） 世帯数：12,472世帯（+10）
男性：15,878人（-8） 女性：14,981人（-12）